

IoT OS 「SINGULARITY」

国内で初めて全 IoT 端末から送信されるデータを自動受信・検知・制御
IoT 時代に必須の IoT データのダイレクトコントロールを推進
2015 年 6 月下旬より提供開始

IoT データを活用した自動運用（オートパイロット）サービスと自動制御システムをクラウド提供するジグソー株式会社（本店：北海道札幌市北区、代表取締役：山川 真考）は、全ての IoT 端末から送信されるデータを自動受信・検知・制御するための IoT OS 「SINGULARITY」 および puzzle for IoT を 2015 年 6 月下旬より提供を開始いたします。

■2020年に市場規模16.4兆円(※)。IoT関連市場で必要なデータの管理・運用

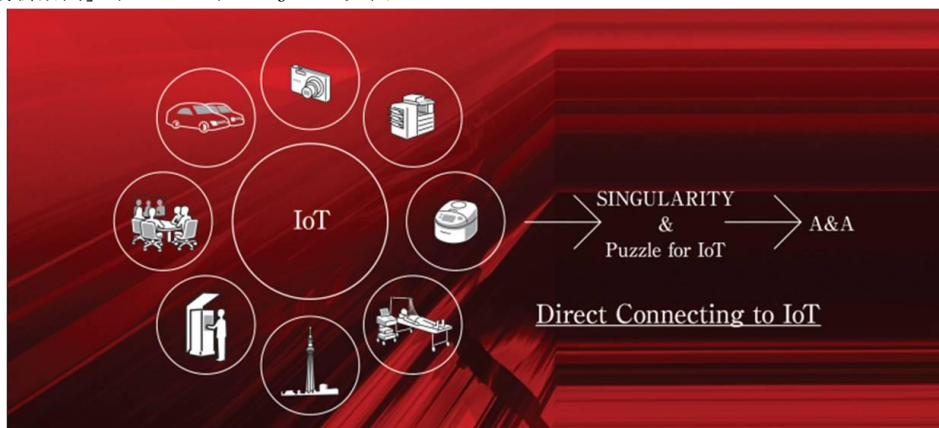
2014 年の国内 IoT 市場売上規模 9.4 兆円に対し、2019 年には 16.4 兆円に達する見通し(※)となっております。IoT 市場の拡大に応じて、IoT 端末から送信されるデータの管理・運用市場も拡大し、2019 年には 1 兆円に成長する見込みです。しかし、市場の成長に対してインフラエンジニアの不足が予想されており、当社が提唱する A&A（自動検知・自動制御）サービスに注目が集まっております。

■全ての IoT 端末から収集したデータの自動検知・自動制御を可能に

当社では今後注目が集まる IoT 時代に必要なビックデータの管理・運用を実現する A&A（自動検知・自動制御）プラットフォーム「puzzle」を提供しています。そして、このたび新たに全ての IoT 端末から送信されるデータを自動受信・検知するための IoT OS 「SINGULARITY」 および puzzle for IoT の提供を開始。今回のリリースにより、従来のクラウドやサーバ・ネットワークの領域を大きく超え、A&A プラットフォーム「puzzle」と組み合わせることで、全てのセンサーから自動収集される IoT データのダイレクトハンドリングを実現いたします。

今回、IoT OS 「SINGULARITY」 および puzzle for IoT の提供開始により、あらゆる業界に向けて当社の A&A（自動検知・自動制御）サービスの提供と、多くの IoT サービスを利用・提供する企業への取り組みを進化させることが可能になりました。今後も、様々な企業との幅広い観点での連携を通じ、得意領域である OS 領域における取組を進化させるとともに、来るべきデジタルユニバースを支える No.1 企業として取り組んでまいります。

※「IoT 市場の最新動向」（2015.2.5）IDC JAPAN 発表より



■概要

- ・名称: **SINGULARITY**
- ・内容: 当社のA&A(自動検知・自動制御)サービスのご提供領域を、従来のクラウドやサーバ・ネットワークの領域を大きく超え、全てのセンサーから自動収集されるIoTデータのダイレクトハンドリングを実現します。その結果、全てのIoT端末のデータを自動受信・自動検知・自動制御を可能にします。
- ・提供開始予定: 6月下旬予定

【ジグソー株式会社について】

ジグソー株式会社はIoTビックデータを活用した自動運用（オートパイロット）サービスと、人工知能およびロボット型ソフトウェアをベースとした自動制御システムをクラウド提供。そのほかにも、システム監視、障害対応からシステム運用全般までトータルサポートなどを行っている国内唯一の次世代総合システム運用カンパニーです。

■会社概要

会社名： ジグソー株式会社（URL：<https://www.jig-saw.com/>）

証券コード：3914

所在地： 東京本社/東京都港区三田2-10-6 9F

札幌本店/北海道札幌市北区北8条西3丁目32番7階

SCCおよびサテライトオフィス、A&Aラボ/札幌市内

代表者： 代表取締役 山川 真考

設立： 2001年11月

資本金： 2億7,288万円（2015年4月28日現在）